

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	健全な財政運営	施策コード	作成者	所属	企画振興部 行政経営課
		11012		役職・氏名	課長 西岡保典
				電話	0826-42-5623

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	V計画の推進
	主要施策	2.行政改革の実施

① 住民意識調査結果	特に調査は実施していないが、市の財政状況や健全化方策については議会や市民の関心は高い。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果 財務4表や財政健全化判断指標の公表等市の財政状況については、迅速かつ確に情報公開に努める。
③ 施策の現状と課題	平成19年度に作成した財政健全化計画については、その後の政権交代や金融危機の影響等により、状況が急激に変動したため平成22年度に見直しを行った。以後毎年度決算並びに総合計画(実施計画)のローリング、第2次行政改革の効果額等を反映させた財政推計と財政健全化計画の検証を行い、中長期的に財政の安定化を図る。平成26年度からの普通交付税の段階的削減を踏まえ、事務事業の重点化と見直し・削減が急務である。	
④ 施策の意図、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・財政健全化計画の検証・見直し ・財政健全化判断指標の改善 ・毎年度の実質単年度収支黒字化 ・財政調整基金等の計画的な積立 ・連結を含む財務4表の作成・公表及び分析結果に基づく施策への反映 	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
公債費負担の適正化	実質公債費比率	★
人件費等経常経費の徹底削減	経常収支比率	★
実質単年度収支の黒字化	実質単年度収支額	★
財政調整基金の計画的積立	財政調整基金	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
実質公債費比率	目標	17.8	16.5	15.6	15.0	13.2	H23 三次13.7 庄原20.2	普通会計の公債費等の経費を標準財政規模を基本とした額で除したものの3年平均
	実績	17.4	16.2	14.9	—	—		
	達成率	102.3%	101.9%	104.7%	—	—		
経常収支比率	目標	89.1	93.0	92.8	93.4	94.8	H23 三次92.8 庄原95.3	義務的性格の経常経費に充当された経常的な一般財源の割合
	実績	86.1	89.4	89.0	—	—		
	達成率	103.5%	104.0%	104.3%	—	—		
実質単年度収支額	目標	282	41	162	167	118	H23 三次 917 庄原▲366	単年度収支+財政調整基金積立額+地方債繰上償還額-財政調整基金取崩額
	実績	419	53	367	—	—		
	達成率	148.6%	129.3%	226.5%	—	—		
財政調整基金	目標	1,648	1,689	1,851	2,018	2,300	H23 三次3,244 庄原1,691	財政調整基金残高
	実績	1,607	2,012	2,655	—	—		
	達成率	97.5%	119.1%	143.4%	—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	434	財政運営事業	2・1・3	4,400,352 4,166,774	4,193,022 3,971,711		4.50 37,646	高い	削減配分	公債費償還経費が主要である
合計				4,400,352 4,166,774	4,193,022 3,971,711	0 0	4.50 37,646			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	平成20年度決算以降、実質単年度収支は黒字で推移している。実質公債費比率も改善しつつあり、また財政調整基金残高も一般的に適正とされている標準財政規模の1割以上を確保している。
② 平成25年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	世界的な経済不況や東日本大震災の後、日本経済の冷え込みも若干ではあるが、回復の兆しが見込まれるとはいえ、本市の税収の回復は依然として見込めない中で、平成26年度以降普通交付税の合併加算の段階的削減が始まることから、さらなる財政健全化方策が求められる。また交付税の減額により今後経常収支比率が上昇することが予想されるため、経常経費の削減が急務である。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	平成22年10月に改定した財政健全化計画に基づく数値目標等を毎年度検証を行いつつ、数値悪化または計画未達成の場合は、総合計画の実施計画や健全化方策の見直しを行う必要がある。

政策への貢献度	高い	企画振興部長	(氏名)	竹本 峰昭
---------	----	--------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	財団法人の統合	施策コード	作成者	所属	企画振興部 政策企画課
		11013		役職・氏名	課長 山平 修
				電話	0826-42-5612

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	V計画の推進
	主要施策	2.行政改革の実施

① 住民意識調査結果		② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	本市には、次のとおり財団法人が2団体存在している。「安芸高田市地域振興事業団」は、公共施設の指定管理業務及び人材派遣業務を、「八千代町開発公社」は、公共施設の指定管理業務を主要な業務としている。行財政改革が求められている今日、ひとつの自治体に同様の業務を行う複数の財団法人を存在させることは不合理的で、むしろ、両財団法人を統合することにより様々な効果が期待できる。	
④ 施策の意図、今後の展望	地域振興事業団については、公益法人認定への手続きを進める。また、八千代町開発公社については、解散に向けて検討を行う。一方、公社解散後、現在公社が実施している業務の移行先は、民間活力の活用を含め検討する必要がある。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
公益法人化に向けた関係機関等の連携・協議等	連携協議の回数	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
連携・協議の回数	目標		5	5			○法人からの相談・指導 2回 ○法律事務所への相談 3回	
	実績		4	5	-	-		
	達成率	%	80.0%	100.0%	-	-		
	目標							
	実績				-	-		
	達成率	%			-	-		
	目標							
	実績				-	-		
	達成率	%			-	-		
	目標							
	実績				-	-		
	達成率	%			-	-		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	547	財団法人指導事業	2.1.7.1	852	596		0.07	普通	前年度並み配分	人件費事業
				852	596		596			
合計				852	596	0	0.07			
				852	596	0	596			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	【地域振興事業団】 平成24年度から公益法人としての認定を受けるべく申請事務を進めてきた。 【八千代開発公社】 顧問弁護士からの指導を受け、解決に向け取組んだ。
② 平成25年度以降の課題（事務事業構成、役割分担）	【地域振興事業団】 平成25年4月から公益財団法人としてスタートする。 【八千代開発公社】 解散を見据え、当面一時的な一般法人とするための事務を進める。
③ 総合評価（今後の展開、事務事業の見直し等）	両法人とともに、情報を整理・共有し統合の可能性について検討してきた。なお、行政改革推進上からもこのことに取り組んだが、現状下での「統合」は困難であることから、項目名の「統合」は、「合理化」に置き換え両者とも既定の方向性により取り組むこととする。

政策への貢献度	普通	企画振興部長	(氏名)	竹本 峰昭
---------	----	--------	------	-------